

第 2 回 議員協議会

令和 5 年 3 月 24 日（金） 5 階 議場	開 会 1 1 時 3 0 分 閉 会 1 1 時 4 8 分
------------------------------	------------------------------------

午前11時30分 開会

○議長（加藤輔之君）

それでは、ただ今から令和 5 年第 2 回議員協議会を開きます。

今回の会議は、大きな課題となっております今後の選挙等に関する検討会をどう開くかという、そういうスケジュールを含めた提案であります。

お手元の資料にありますように。

もう一遍、初めから言います。

1、議員定数についてを議題とします。

まずは資料配付したスケジュールをご覧ください。

議員定数に当たっては、先日、どこかの委員会に付託するという形ではなくて、議員全員で協議していきたいということを申し上げました。改めて、議長である私が独断で進めるという形は余り良くないと思いますので、議員定数検討会ということにして、座長を選出し、座長に会議を進めていただきたいと思います。

このようなことについては、いかがでしょうか。

ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、ご異議なしということで、座長を選出することといたします。

予定としては、この検討スケジュールということで、毎月、全員協議会の後に午後から時間をかけて、じっくりと検討していくということを予定しております。

また、期間中にパブリックコメントも求めるということで、議会ちゃんねる、それから、議会のホームページを使って一般市民の皆さんの意見もうかがう。

それから、議会報告会についても、7月から8月にかけて、この問題を中心にして使って意見を聞く。まちづくりや区長会も全面的に協力していただけるというふうに読んでおります。

ギチャについては、このような形で触れていく。

それから、連合自治会からは、3月29日（水）に自治会のほうから意見書、類する報告書等が来ることになっております。

最終的には、12月の議会に上程して、議決を出したいというふうなスケジュールにしたいと思っております。

下に書いてあります、進め方としては、座長招集による検討会を行いたい。全議員を構成員として、原則必ず出席していただきたい。一時的に議員定数についてのみを検討する会議であり、会議

規則や申し合わせ事項等によらないことでもあります。

毎月、全員協議会後に、先ほども申し上げましたが、開催することとし、必要があればその間にも開催する。

第1回目は、他市議会の定数状況と基礎資料を議員間で情報共有をしたい。

第2回から第3回については、定数についての議員間協議をしたい。

第4回から第6回については、定数を決定していくと。これと同時にパブリックコメントも行っていきたい。

第7回から第8回については、パブリックコメント意見の整理、議案の検討を行っていきたいという、こういう予定を今、考えております。

ということで、議長である私が独断で進める形は余り良くないということを思いますので、議員定数検討会には座長を選出し、座長に会議を進めていただきたいと思います。と思っています。

このことについてはいかがでしょうか。

○12番（成瀬徳夫君）

このスケジュールなんですけど、この第4回から第6回までで定数を決定すると書いてあるんですけど、余りにも・・・と僕思うんですけど、もう少しなんか検討する時間って必要だと思うんですよ。あれは・・・しらんけども。

○議長（加藤輔之君）

それはそれで、はい、伺いました。

その辺は、まだこれは原案ですので、座長のほうでその辺を進めていただきたいというふうに思いますので、いろんなご意見は出してください。

それでは、座長を選ぶということで進行していくということについては、いかがですか。良いでしょうか。

○・・・（・・・君）

・・・。

○議長（加藤輔之君）

はい。そうですね、いろいろこれから出てくるとしますので、どんどん意見を出していただくということです。

座長については異議ありませんか。

ほかに質問はありますか。

16番 柴田増三君。

○16番（柴田増三君）

今は、座長に全部任せるような話でしておったけども、進めることはいいけども、結局、議長諮問としてやる形なら、これ、みんなで定数を検討会という形で、議長が諮問するわけやら。・・・全く、議長。

○議長（加藤輔之君）

諮問ではありませんよ。諮問ではない。

○16番（柴田増三君）

ただ、今の座長が全部答えるということに対して、答えられるのか、その今の答えについて、ある程度、恐らく質問やないけども、何かあったら座長が全部答えるんですかっていう話。座長に任せるような議長のお話でしたけども。

○議長（加藤輔之君）

任せるつもりはありませんけど、一緒になって考えていくということで、議長としての腹は当然あります。

○議会事務局長（梅村修司君）

ちょっと議長のフォローをさせていただいていいですか、事務局。すみません。

○議長（加藤輔之君）

はい。

○議会事務局長（梅村修司君）

この検討スケジュールは、議長と事務局でちょっと、まず議長の意向確認をした上で、フレームという形で、目指す形としては、今、議長がご説明されたように、市民の関心も非常に高く、連合自治会からも意見書が提出されるということで、4年後の選挙だから、たらたらとやっとなっちゃいかんと。ともかく早急に答えを出して、市民の皆さんに議会の動きを訴えていきたいということで、多少ちょっと拙速ぎみではあります。さっき、成瀬議員もおっしゃったように、早過ぎないかということはあるんですが、とりあえず、目標として12月議会の上程を目指す。

もうちょっと、期間がどうしても必要だということなので、小さい点で、3月議会もあるなというような想定の中で、これはあくまでも現在の議長の目標という形で、まずは12月議会をゴールとすると、市民への意見聴取は10月頃やりたいと。

また、議会報告会も、これ「報告会候補」と書いてありますが、必ずこの時期にやろうなんてまだ決定しておりませんので、ある意味、この12月議会を目途とする場合はこんなスケジュールでやったらどうかという、これはフレームですので、今後、議員の皆さん同士で議論を深めていくわけですが、そこで出てきた課題については、決められた座長を中心に進めていきたいということでございます。

このスケジュール（案）についてご質問がある場合は、今のうちに出していただいて、あくまでもこれは目標というかフレームであると。細かいことについては今後、進めていく中でまた新たな課題も出てくるでしょうし、時期的にも、ちょっと12月議会を目指すのは早過ぎるなということだったら、3月議会でもやむなしと。

ただ、ちんたらちんたらやっとなというのは良くないよという議長のイメージでございますので、よろしくお願いいたします。

何かご質問があったら。

○議長（加藤輔之君）

11番 小木曾光佐子君。

○11番（小木曾光佐子君）

・・・と思うんですけど、ただ、成瀬議員の言われたちょっと拙速・・・もっと十分に話し合うべきだと思いますし、話合いを始めて、ある程度、目星がつかないとこれ、・・・やっぱり前倒すことも・・・もうちょっと考えていただきたい。

まずは1回目を開いてからじゃないと、このスケジュールもちょっと納得できないし、報告会・・・じゃないですか。意見書では。まずはここをはっきりしないと、この方向でいいと言われるなら、皆さんが。討論しなきゃいけないし、・・・じゃちょっと早いんじゃないかという、・・・とか、・・・ないでいく。

○議長（加藤輔之君）

8番 邊田翔太君。

○8番（邊田翔太君）

その今の意見の・・・ただそのちょっと2名の方々は議員になられて、活動が、これから学んでいかれるところであるということで、どうすればいいの。ただ、全体のことを分かっている、・・・以前に、これは前回も・・・については・・・。

ここは1年を通して、大分活動が分かってきた・・・じゃあどうしたらいいか・・・ということができる状態で、初めて・・・と。・・・そういったことが・・・。

○議長（加藤輔之君）

14番 熊谷隆男君。

○14番（熊谷隆男君）

これ議長案で、これってどうだろうというか、素案のような・・・ですけども、今、邊田議員が言ったみたいに、・・・と。もしくは、今は9月で来てたっていいような・・・もある。・・・今度全て・・・いいわけやから。

ただ、要請としては、まあ、・・・早ければ、・・・やないかというしか、できてきとるんじゃないかと。ところが・・・ねんかというご指摘も、厳しいところもあると思う地域でありますので、議会としては、早期に答えを出す。

なぜ出さなきゃいけないかということ言えば、これ早く規定を示して、市民の方にも同意を得ていただくのにある程度時間がかかるという、・・・言いますと。関心のない方にとっては、全く・・・がないこともあるかもしれんけども、開示があってから、やっぱりこのことについていろんなご意見が出てくるだろうということを考えると、議員の力をつけるためには、何を言いよるかという、完全に長く・・・ほど、文句はないやらの話にはなって、早く答えを出してそれに対して・・・もらうという、新しく・・・方の猶予の時間をとってあげるところも、今回の選挙を受けての定数としての素質じゃないかなということだと思うので、まだここまで、それこそ・・・けど、議長も・・・やったなというぐらいには見えへん。

・・・からゆっくりやるかどうかということは、・・・て、ただの評価。そうすると、こういう

ふうにやるのが意味ないかというか、意味ないことにもということで、ここでやりにくいんじゃないかなと思うので、そういうことでどうでしょう。

○議長（加藤輔之君）

12番 成瀬徳夫君。

○12番（成瀬徳夫君）

今、言われたんですけども、まあこれ、・・・多少練ってからやろうというのが気持ちは分かります。分かるんですけど、これはやっぱり・・・もあるんで、・・・出しますじゃないかということなんで、議員協議会のところでやっていただいて、そこで意見も大体出していただいて、大体まとまってきたなという・・・やっていく。じゃないと、最初から・・・決めといて・・・やられてきたっていうのが・・・やないかと。

その辺もちょっと考えていただきたいと私自身は思います。

○議長（加藤輔之君）

そうするか。

○議会事務局長（梅村修司君）

それも含めて。

○14番（熊谷隆男君）

この2つの決めたと、皆さん、立候補してやりたいとなりゃ、その辺を・・・。なければという、その決め方は・・・それとも・・・ていくのか、そうじゃなくて、議会運営委員会で座長を決めてもらうとか、・・・は・・・あれば・・・その選出の方法もまず・・・ことない。

○議長（加藤輔之君）

うん。本日のところは、座長は次か。もうちょっと煮詰まってから座長を決めるということで、議員協議会をやっていくと。とりあえず議員協議会をやって、皆さん方の意見を聞くということで進めていく、ということはどうですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

いいですか。

じゃあ、そういう形で進めていきます。

○議長（加藤輔之君）

2、その他のところで、先ほどから、その辺なんでやるかという意見も出ておりますけども、皆さん方の棚に一般市民からのはがきのコピーを入れておりますけども、やっぱりああいう形で、非常に今回については、それぞれの皆さんが地域からの意見とか、要望とか、反応とか、批判とかというのを聞いておられると思いますけども、そういう点でやっぱり、どうしてもそれに対して誠実に、できるだけ早く応えていくという体制を議会として作っていく必要があるというふうに思っておりますので、その辺のお願いもしたいと思います。

14番 熊谷隆男君。

○14番（熊谷隆男君）

・・・配付されて見ましたけども、記名のないようなもの・・・。誰が出したとも言えない、無記名のものを、これぐらいのことくらいで配るのかと。というのは、かつてああいうことがありましたけども、ちゃんと記名をいただいたものに関してはね、・・・なきやいけないと。・・・ある・・・だと思いますけども、それじゃあ、無記名のものって言ったら、俺が適当に書いて無記名で出したって・・・。

僕は違うと思うんですよ。やっぱり責任を持って、書かれたことについては審議して・・・れるけども、やっぱり無記名でなぐり書かれたようなものについては、それを検討せんことには分からないというふうに思います。だから、・・・。

○議長（加藤輔之君）

参考として出しました。記名なかった。

○・・・（・・・君）

記名はない。

○議長（加藤輔之君）

ないか。

ほかにご意見はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（加藤輔之君）

それでは、本日の会議はこれで終わります。

以上をもちまして、第2回議員協議会を閉会いたします。

よろしくお願いします。

午前11時48分 閉会